

## 輸送動向について(平成22年8月分)

平成22年9月

### 1. 輸送概況

今月は、中旬に北海道・東北地区において台風に伴う大雨による輸送障害が発生し、月全体では高速貨27本が運休した。

荷動きについては、企業活動の回復に加え、月平均気温が観測史上最高となった猛暑の影響により季節商品の出荷が旺盛となったことから、前年を上回って推移した。

コンテナ貨物は、農産品・青果物、積合せ貨物が前年を下回ったものの、自動車部品、化学工業品、食料工業品などが前年を上回り、全体では前年比106.2%となった。自動車部品、化学工業品などは、前年の生産調整の反動により増送となった。また、家電・情報機器は記録的な猛暑を受け、エアコン・冷蔵庫等の出荷が好調となったほか、食料工業品は清涼飲料水が月を通して旺盛な出荷となった。なお、農産品・青果物は北海道地区の野菜類が、春先の天候不順及び夏場の大雨・高温による生育不良により大幅に減送となった。

車扱貨物は、石油が前年を上回ったものの、セメント・石灰石が前年を下回り、全体では前年比99.1%となった。石油は、猛暑の影響から、自動車向けの揮発油・軽油の需要が高まり増送となった。セメント・石灰石は、需要の減少及び一部顧客の輸送中止により減送となった。

### 2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,660	1,563	106.2%	8,488	8,041	105.6%
車 扱	817	825	99.1%	3,891	3,885	100.2%

### 3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	142	154	-12	92.2%
	化学工業品	164	148	16	110.8%
	化学薬品	120	110	10	109.1%
	食料工業品	270	255	15	105.9%
	紙・パルプ	261	252	9	103.6%
	他工業品	123	108	15	113.9%
	積合せ貨物	167	169	-2	98.8%
	自動車部品	61	46	15	132.6%
	家電・情報機器	39	30	9	130.0%
	工コ関連物資	29	28	1	103.6%
	その他	284	263	21	108.0%
	コンテナ計	1,660	1,563	96	106.2%
車 扱	石油	522	500	22	104.3%
	セメント・石灰石	124	144	-20	86.2%
	車 両	71	80	-9	88.4%
	その他	100	100	0	100.0%
	車扱計	817	825	-8	99.1%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)